

授 業 科 目 名	書道科教育法 I (Teaching Method for Calligraphy I)		
科 目 番 号	9483101	授 業 形 態	講義
単 位 数	1.5 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	春 ABC	曜 時 限	水曜・1 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	全学群		
担 当 教 員 (連 絡 先)	菅野 智明 (芸術系棟 B535 tel 853-2715)		
オ フ ィ ス ア ワ ー	火曜 12 時 30 分～13 時 30 分		
授 業 の 到 達 目 標	高等学校の書道教育に関する基本的な知識を習得する。		
授 業 の 概 要	高等学校の書道教育について、その指導方法を講述する。		
授 業 計 画	<p>第1回: 前説—学習指導案の作成と教材開発の工夫—</p> <p>第2回: 年間指導計画の検討(1)学習指導要領書道Ⅰの目標と内容について学習する。</p> <p>第3回: 年間指導計画の検討(2)学習指導要領書道Ⅱの目標と内容について学習する。</p> <p>第4回: 年間指導計画の検討(3)学習指導要領書道Ⅱの目標と内容について学習する。</p> <p>第5回: 単元計画の検討(1)漢字の書の単元化と教材開発の工夫について学習する。</p> <p>第6回: 単元計画の検討(2)仮名の書の単元化と教材開発の工夫について学習する。</p> <p>第7回: 単元計画の検討(3)漢字仮名交じりの書の単元化と教材開発の工夫について学習する。</p> <p>第8回: 単位時間計画の検討(1)漢字の書の学習指導法の工夫について学習する。</p> <p>第9回: 単位時間計画の検討(2)仮名の書の学習指導法の工夫について学習する。</p> <p>第10回: 単位時間計画の検討(3)漢字仮名交じりの書の学習指導法の工夫について学習する。</p> <p>第11回: 内容学との関連の検討(1)漢字の書に関して学習する。</p> <p>第12回: 内容学との関連の検討(2)仮名の書に関して学習する。</p> <p>第13回: 内容学との関連の検討(3)漢字仮名交じりの書に関して学習する。</p> <p>第14回: 書道科の授業と情報機器の活用</p> <p>第15回: 学習のまとめ—発展的な学習を目指して—(模擬授業)</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	授業への参加態度、レポート(提出物)を総合的に評価する。		
テ キ ス ト	「高等学校学習指導要領」(最新版)、文部科学省 高等学校学習指導要領解説(芸術編)(最新版)		
参 考 文 献	文部省 高等学校芸術科書道指導資料 教育図書出版社 1992		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	各検定教科書教材の比較検討、各種授業研究会資料の検討		
受 講 学 生 に 望 む こ と	高校書道にかかる各種授業研究会への積極的参加、もしくはそれに関する授業案等の資料収集を積極的に行うこと。		
備 考	免許法に基づく高等学校(書道)の教員免許取得に必要な「教育課程及び指導法に関する科目」における「各教科の指導法」(4 単位)のうちの 1.5 単位に対応する。		

授 業 科 目 名	書道科教育法 II(Teaching Method for Calligraphy II)		
科 目 番 号	9483201	授 業 形 態	講義
単 位 数	1.5 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	秋 ABC	曜 時 限	水曜・1 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	全学群		
担 当 教 員 (連 絡 先)	菅野 智明 (芸術系棟 B535 tel 853-2715)		
オ フ ィ ス ア ワ ー	火曜 12 時 30 分～13 時 30 分		
授 業 の 到 達 目 標	高等学校の書道教育に関する基本的な知識を習得する。		
授 業 の 概 要	高等学校の書道教育について、その指導方法を講述する。		
授 業 計 画	<p>第1回：前説—高校芸術科書道の目標と内容—</p> <p>第2回：実技指導の検討(1)漢字の書教材の実践的な指導法について学習する。</p> <p>第3回：実技指導の検討(2)仮名の書教材の実践的な指導法について学習する。</p> <p>第4回：実技指導の検討(3)漢字仮名交じりの書教材の実践的な指導法について学習する。</p> <p>第5回：鑑賞指導の検討(1)漢字の書教材の実践的な指導法について学習する。</p> <p>第6回：鑑賞指導の検討(2)仮名の書教材の実践的な指導法について学習する。</p> <p>第7回：鑑賞指導の検討(3)漢字仮名交じりの書教材の実践的な指導法について学習する。</p> <p>第8回：書論・書道史指導の検討(1)学習指導要領書道Ⅰの当該教材の実践的な指導法について学習する。</p> <p>第9回：書論・書道史指導の検討(2)学習指導要領書道Ⅱの当該教材の実践的な指導法について学習する。</p> <p>第10回：書論・書道史指導の検討(3)学習指導要領書道Ⅲの当該教材の実践的な指導法について学習する。</p> <p>第11回：内容学との関連の検討(1)学習指導要領書道Ⅰに関して学習する。</p> <p>第12回：内容学との関連の検討(2)学習指導要領書道Ⅱに関して学習する。</p> <p>第13回：内容学との関連の検討(3)学習指導要領書道Ⅲに関して学習する。</p> <p>第14回：書道科の授業と情報機器の活用</p> <p>第15回：学習のまとめ—発展的な学習を目指して—(模擬授業)</p>		
成 績 評 価 方 法	授業への参加態度、レポート(提出物)を総合的に評価する。		
テ キ ス ト	「高等学校学習指導要領」(最新版)、文部科学省 高等学校学習指導要領解説(芸術編)(最新版)		
参 考 文 献	文部省 高等学校芸術科書道指導資料 教育図書出版社 1992		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	各種検定教科書教材の比較検討、各種授業研究会資料の検討		
受 講 学 生 に 望 む こ と	高校書道にかかる各種授業研究会への積極的参加、もしくはそれに関する授業案等の資料収集を積極的に行うこと。		
備 考	免許法に基づく高等学校(書道)の教員免許取得に必要な「教育課程及び指導法に関する科目」における「各教科の指導法」(4 単位)のうちの 1.5 単位に対応する。		